

《教育長メッセージ 第19号》

『子どもの頃の夢』

みなさんは、子どもの頃どんな夢を抱いていたのでしょうか。

腹一杯お菓子を食いたいとか、宇宙に行ってみたいとか、鉄人を操縦したいとか、鉄腕アトムみたいに空を飛びたいとか・・・。

私は昭和三十年生まれの田舎の男の子でしたが、みなさんは、どんな時代に生まれ、どんな夢を抱いていたのでしょうか。

また、将来の夢として、なりたい職業は何だったのでしょうか。

私が、はっきりとなりたい職業を思い浮かべたのは、小学校3年生の頃でした。その頃、テレビで週に1回ぐらい「野生の王国」のような、動物を題材とした番組がありました。鳥や動物に興味があったので、世界中の様々な動物や自然環境を引き込まれるように見ていました。特に、アフリカのサバンナの自然公園の映像は、衝撃的でワクワクするものでした。

そして、自然公園のレンジャーになりたいと思うようになりました。あまり人には話していませんでしたが、中学生の頃までその夢を抱いていました。

中学校3年生になって、進路を決めることになり、私は、田舎の町を出たくて、石巻の高校に進学したのですが、その頃は、就職する友だちが多くいました。

その時に、高校進学以外に、二つの進路を真剣に考えました。

一つは、北洋のサケマス船団の船乗りになることでした。けっこう厳しい世界ですが、何人かの友だちがその世界に飛び込みました。卒業したばかりだというのに、お盆の頃に友だちに会うと、みんな、札束を持っていました。羽振りがよく、お金持ちに見えて、私もその世界に飛び込んで贅沢をしたいと思いました。本当に厳しい世界だったようですが、目の前の華やかさだけに誘われていました。

もう一つは、住み込みで、寿司屋で修行することです。親戚の人がその世界に入り、よい話ばかりを聞かされて、その頃、たまにしか食べられなかった寿司をたらふく食べられると、勝手に思っていました。親に迷惑をかけないで自立したいという気持ちもあって、高校進学に失敗したら、真面目に寿司屋で修行をしたいと考えました。

結果は、高校に進学し、親に大学まで通わせてもらって、教員になりました。



しかしながら、大学を卒業してすぐに教員になったわけではなく、卒業後半年間は、山登りに関係した職業に就きたいと考えていました。

そんな中、機会があって、その年の9月から、海老名市で教員として働くことになりました。教員になってからも、山登りを続け、数年は、教員を辞めて、山に関係する仕事に就きたいという思いがありましたが、その当時の杉久保小学校で出会った子どもたちと教職員、保護者の方々とのかわりの中で、教員として一生働こうと決めました。

えびなの子どもたちは、今、どんな夢を持っているのでしょうか。私の子どもの頃の夢は、まわりの人たちのかわりの中で変容し、今の夢は、職責として、子どもが将来しあわせになるための教育を進めることです。

そして、やはり、自然公園のレンジャーに憧れるのです。

次回は、『授業づくり』について自分の考えをお伝えします。